

第7回 四日市市都市総合交通戦略協議会 議事録

1.開催日時 平成26年6月5日(木)14:00～17:00

2.開催場所 本町プラザ 1階ホール

3.出席者及び欠席者の氏名(いずれも敬称略)

(1)出席委員(22人 うち代理出席6人)

名城大学工学部社会基盤デザイン工学科教授	松本 幸正
三重交通(株) 四日市営業所長	高田 和昭
三岐鉄道(株) 取締役鉄道部長	雨澤 隆生
NPO法人生活バス四日市 理事長	西脇 良孝
近畿日本鉄道(株) 鉄道事業本部 企画統括部 営業企画部 課長	岩崎 正義(代理出席)
東海旅客鉄道(株)三重支店 管理課 係長	伊藤 正善(代理出席)
伊勢鉄道(株)常務取締役総務部長	服部 桂吾
四日市市自治会連合会	原田 禮嘉
四日市商工会議所 総務部長	伊藤 克己
神前地区まちづくり推進委員会 バスプロジェクトリーダー	佐野 しのぶ
桜ボランティア協会 会長	佐野 師英(代理出席)
四日市南警察署 交通第一課長	山口 雅章
国土交通省三重河川国道事務所 副所長	廣瀬 昌俊
国土交通省北勢国道事務所 事業対策官	高橋 仁(代理出席)
国土交通省三重運輸支局 首席運輸企画専門官	野田 敏幸
三重県地域連携部交通政策課 主幹	川端 賢一(代理出席)
三重県県土整備部都市政策課 課長	中嶋 中
三重県四日市建設事務所 副所長兼保全室長	高橋 建二
(公社)三重県バス協会 専務理事	星野 雅則
(一社)三重県トラック協会 業務部長	西口 豪時(代理出席)
三重交通労働組合 四日市支部長	伊藤 由幸
四日市市都市整備部 理事	山本 勝久

(2)欠席委員(1人)

(一社)三重県タクシー協会 専務理事 景山 和

(3)出席オブザーバー

国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課企画調査第一係長	中舎 明正
国土交通省中部運輸局鉄道部計画課長	加藤 弘彦
三重県警 交通企画課 課長補佐	相馬 進
三重県警 交通規制課 調査官	山澤 正和

(4)事務局幹事

市都市整備部道路整備課 課長補佐	山口 正司
市都市整備部道路管理課 課長	清水 伴彦
市環境部環境保全課 課長	人見 敏和
市都市整備部都市計画課 課長	川尻 裕司

(5)事務局

市都市整備部 理事	今坂 重孝
市都市整備部 政策推進監	石田 尚弘

市都市整備部都市計画課公共交通推進室 秦 英博、大原 喜美、蟹江 伸次郎
市都市整備部都市計画課総務・土地利用グループ 小口 浩子
市都市整備部都市計画課都市施設グループ 荒野 健吾

4. 配付資料

【事前配布資料】

事項書、委員名簿、協議会規約

資料 - 1 四日市市都市総合交通戦略に基づく平成25年度の取組み実績一覧表

資料 - 2 四日市市都市総合交通戦略に基づく平成25年度の取組み実績位置図

資料 - 3 平成25年度取組み実績及び平成26年度の取組み予定調査票

【当日配布資料】

席次表、出席者名簿

資料 - 4 評価指標データについて(中間報告)

資料 - 5 四日市市都市総合交通戦略協議会 今後のスケジュール(案)

関連資料 - 1 各戦略の指標体系(第3回協議会配布資料)

関連資料 - 2 第5回パーソントリップ調査抜粋版

三重交通株式会社(株)提供資料(四日市地区バスロケーションシステム)

5. 会議傍聴者等 なし

6. 川尻都市計画課長あいさつ(内容省略)

7. 会議公開及び議事概要公開の報告 了承

8. 委員紹介

9. 役員の選出 会長 山本 勝久委員、座長 松本 幸正委員、会計・監査 なし

10. 議事

(1) 四日市市都市総合交通戦略に基づく施策の取組み状況について

平成25年度の取組み実績報告及び平成26年度の取組み予定について

資料に基づき、市から説明(資料3 No1~No21)

(質疑応答)

A 委員： 歩道整備や自転車道整備に取り組んでいただいているが、県道など狭い道路において車が減速するような対策を特に通学路において進めてほしい。

また、霞ヶ浦駅前の踏切においても同様に踏切内が狭いため、マクラギなどの施設交換時にできる限り併せて拡幅に取り組んでほしい。

事務局： 通学路の安全対策については、国道、県道、市道とあるが、教育委員会とも連携して地域の声も聞きながら、優先順位を付けて取り組んでいるところである。

しかしながら、財政的にも厳しいことから、地域の土木要望とも調整しながら地域によっては巻き替えるなど工夫しながら地域とともに安全対策に取り組んでいきたい。

また、霞ヶ浦駅前の踏切については、近鉄とも協議を進めてきており、工事着手(踏切内の歩道設置)に向けて取り組んでいる。

座長： 通学路の安全対策については、全国的に文部科学省より自治体へ通達が出されていると思

- うが四日市市ではすでに教育委員会と取り組んでいるということによいか。
- 事務局： 通学路の安全対策については、平成24年5月に国からの緊急合同点検の通達があり、教育委員会、道路管理者、公安委員会とで点検等を実施している。
その後、平成25年2月の国の経済対策のための補正予算において、本市も予算要求して路肩のカラー舗装化などに取り組んでいるところである。
今後も関係者が集まって整備個所の優先順位を決めながら取り組んでいく予定である。
- 座長： 関係者が集まって優先順位を決めて取り組んでいくことは重要であるため、本協議会でも必要に応じて交通安全に関する取り組みとして挙げていただいてもよい。
- 座長： 内部・八王子線の西日野駅で駐輪場の整備に向けた設計に取り組んでいただいている状況である。駅の駐輪場の整備は駅の利便性の向上など利用者の増加に期待が持てる事業であるが、一方で駐輪場を整備すると今まで以上に利用者が増えるという問題もある。整備する規模などどのように考えられているのか。
- 事務局： 現状の台数プラス ということ考えているが、現時点で明確に整備台数を決めているわけではない。地域や議会からも整備規模についての色々なご意見をいただいている。そういった中で、引き続き調査をして必要な規模を決めていきたいと考えている。
- 座長： 非常に重要な事業となる。あすなろう鉄道(株)とも協議しながら利用者を増やすための駐輪場整備と位置付けて取り組んでいただきたい。こういった空間の整備のほか、乗換抵抗を無くす施策、鉄道利用者に対して何らかのインセンティブが働くようなソフト施策も併せて行い、相乗効果を発揮していただければと思います。
- 事務局： 駅前広場を整備する道路整備課、利用促進に取り組む都市計画課、鉄道運行を担うあすなろう鉄道の3者が協力し合ってより良いものとなるように取り組んでいく。
- B 委員： 西日野駅はバスと鉄道の接続点でもあるので、そういった観点も取り入れていただけるようお願いしたい。
- 事務局： 限られたスペースの中でバス車両のサイズも大きいことからできる限りでの対応となる。まずは効果のすぐに出る駐輪場の整備を進めながら、その後、キス&ライドのための整備などトータルで利用促進が図れるように取り組んでいきたい。
- 会長： この西日野駅はバス停もあるため、四日市市が思い描く市内34の駅を活用した交通結節点としてのモデルケースとなる。しかしながら、この駅は河川と鉄道に挟まれたエリアであるため土地を広げるにも難しい。
そういった中、少し南にはバスの幹線ルートである笹川通りがあり、西日野駅のルートはサブルートとなっている。今後、三重交通とも相談しながらバスルートのすみ分けなども考え、鉄道、バス双方にメリットが出るようなことを考えていきたい。

引き続き委員（交通事業者）から説明（資料1～3 No22～No39）

（質疑応答）

- 座長： 三重交通(株)に対して、バスロケーションが再開されたとのことで、大変喜ばしいことであるが、最近ではスマートフォンの普及によってこうしたシステムの利用も伸びていると思う。そういった中、国において情報の見える化に関する事業があったと思うが、そうした取り組みとの連携はされているか。
- B 委員： 現時点ではそうした取り組みとの連携は行っていない。
- 座長： 野田委員どうでしょうか。
- C 委員： また、ご相談いただければお手伝い等をさせていただく。
- 座長： 是非、こうした情報化の取り組みは進めていただきたい。
- 座長： 免許返納に関する取り組みについて、四日市管内の返納件数はどうか。

- D 委員： 年々増加している状況であり、四日市管内では平成 25 年度は 180 件であった。ただ、これについては、公共交通機関が発達している都市部と山間部では比較するのは難しい。山間部では移動手段をどうしても車に頼らざるを得ない。また、他の増加要因としては、高齢者の事故も増えており、家族が心配して免許返納するケースもある。
- A 委員： 三重交通(株)に対するお願いであるが、生活バスの利用者は高齢化しているため、是非ともノンステップバス車両の導入をお願いしたい。
- 会長： 平成 26 年度で三重交通バスのバリアフリー化は生活バスの車両を残し、100%となる。市としてもあすなろう鉄道への支援だけでなく、生活バスへの支援としてバスのバリアフリー化に向けて取り組んでいかなければならないが、財政的に難しい状況でもある。
- 座長： 三岐鉄道(株)にて実施されている山城駅と東員のイオンを結ぶバスについて、ワオン等も導入され、鉄道の利用者も増えているとのことであり、関係者のご尽力の結果である。
- 座長： 鉄道イベントの近鉄鉄道まつりについて、市は何か関与されているのか。
- 事務局： 関与していない。
- 座長： 近鉄鉄道まつりということであるため、なかなか市の関与は難しいかもしれないが、行く行くは市や鉄道、バスの交通事業者で双方に協働で取り組めるとよい。
- 事務局： 市や交通事業者を問わず、関係者が協力し合って皆さんで取り組めるようなものを探っていきたいと考えている。
- E 委員代理： 鉄道まつりについては、現在でも三岐鉄道さんや三重交通さんなど他の交通事業者の方々にもブース出展をしていただきグッズの販売等をしていただいている。今後もあすなろう鉄道も加わり引き続き協力をお願いしたい。
- 座長： 今年度のまつりは終わってしまっているため、来年度に向けてそうした取り組みとなるように検討いただければと思う。
- F 委員： 先ほど西日野駅の駅前広場の話があったが、当方の山城と東員を結ぶバス路線の新設については、東員町において、過去に北勢線の東員駅での駅前広場の整備をしていただいていたからすぐにバス路線を開設できた経緯がある。よって、そうした事前の整備が重要となる。

引き続き委員（交通事業者以外）から説明（資料 1～3 No40～No56）

（質疑応答）

- B 委員： 笹川通りの PTPS について整備後 10 年となるが非常に効果が出ている。今後も必要性等を検証するという説明であったが、国道 1 号や松本街道で整備をお願いしたい。
- 事務局： なかなかすぐにとすることは難しいと思うが、行政、公安委員会と協議調整をして取り組んでいきたい。
- 座長： 効果を定量的に捉える努力をすればなお更よい。愛知県の岡崎市でも PTPS が導入されているが、一般市民は知らないケースが多い。そのため、岡崎市では PTPS をケーブルテレビで放映するなどしてたいへん好評であったと聞いている。
- 事務局： 岡崎市は遠方ではないためヒアリング等をするなど検討したいと考える。
- 座長： 是非、そのビデオを入手して参考にしてもらえればと思う。
- 座長： ちなみに先ほどの各者からの説明の中で、3 点ほど市に対するお願いがあったと思いますが、その点についてどうでしょうか。（お願い内容： 北勢国道事務所高橋委員代理より、今年度末に市道日永八郷線のあたりまでの開通を予定しており、開通式を行う予定である。その際には市も協力をお願いしたい。 三重河川国道事務所廣瀬委員より、

引き続き、国道1号の歩道整備を進める予定のため、用地買収など地元調整に市も協力願いたい。三重県バス協会星野委員より、毎年9月20日のバスの日のイベントにおいて、三重交通(株)、三重運輸支局、四日市市都市計画課の協力を得ながら利用啓発に取り組んでいる。昨年度に津市においては、三重県のマスコットキャラクター(うーまちゃん)も参加して取り組んでいただいた。よって、四日市市においても今後、是非、マスコットキャラクターである「こにゅうどうくん」の参加をお願いしたい。

事務局： 3点ともに可能な範囲でご協力させていただく。特に「こにゅうどうくん」については、市民に親しまれるイベントや道路の開通イベントなど子どもたちもなかなか経験できないことであるため、できる限り考えていきたい。

G 委員代理：我々、運送業界にとっては、NOX、CO2など道路環境への負荷低減については非常に重要であると考えており、業界としてもエコドライブを推奨したり、と努力しているところである。前の新名神高速道路の開通によって、三重県内に流入する車両も増えており、国道1号、国道23号が渋滞する状況にある。

業界で色々と努力してはいるが、北勢バイパスなどの新たな道路ができないと抜本的な解消は難しい。よって、北勢バイパスの早期整備を望んでいるが、開通時期を聞きたい。

H 委員代理：四日市を取り巻く道路状況として、高速道路の整備や三重県で実施されている国道477号バイパスなどがある。今後、三重国体等のイベントも予定されているため、当方としても北勢バイパスの整備を進めていきたいと考えている。

ただし、今後の整備区間には大きなトンネルを整備する必要があり、その進捗によっては、供用時期が大きく変わることも考えられるため、明確な供用時期等の公表は難しい。こうした中、国体等のイベントに向けて整備が進むように努力していきたいと考えているため、皆様のご協力をお願いしたい。

座長： 三重国体の時期はいつか。

事務局： 平成33年である。

座長： それに向かって、皆さん一丸となって進めていただければと思う。

座長： 神前地区で佐野委員が今年度も多くの取り組みをしていただいた。道路整備等に比べると小さな取り組みかもしれないが、実はこうした取り組みはたいへん大事なことであり、今後、求められるものである。また、各者が引き続き取り組みを進めるといった説明の中、佐野委員だけがステップアップして今年度の具体的な取り組み内容の説明をしていただいた。素晴らしいことである。説明の中で手話についても披露されていたが、引き続き頑張ってください。市としても神前地区の取り組みを広報していただければと考える。

事務局： 神前地区まちづくり推進委員会バスプロジェクトの皆さんはこの協議会での取り組み以外にも地域のまちづくりの取り組みでもご活躍いただいている。本当に実践をしていただいているが、市としても広報誌に何度か出させていただいているが、今後もこうした市民の実践した取り組みについては、積極的にPRさせていただきたい。

I 委員： 内部駅は軽便鉄道の終点であったが、北勢線の阿下喜の駅に転車台が埋めてあって掘り起こしたら出てきたと聞いている。実は内部駅にも昔転車台があった。よって、掘り起こして出てくるものであれば観光資源になるのではないかと考える。

E 委員代理： そのようなことは初めて聞いたが、一度調べてみたいと考える。

座長： 意見も出尽くしたようであるが、今後も引き続き各者で取り組みを進めていただきたい。

資料 - 4 評価指標データについて(中間報告)の説明

(質疑応答)

- 座長： こうした目標設定しているデータの更新については、進行管理の観点からも重要になってくることから、今後も引き続きデータ提供へのご協力をお願いしたい。
何かご意見、ご質問はどうか。
- J 委員： 各資料にはデータの出版表記がなされているが、元データをそのまま引用したもの、元データを使って一部加工されたものが混在していると思うが、そうしたデータの出版について正確に記載するべきである。また、こうしたデータは公表を前提に作成されていると思うが、各種更新データについて、前回値からの増減データも併せてグラフの中に示すとよりわかりやすい。今後のこともあるため、きちっとしていただきたい。
- 事務局： 本日の資料は委員皆様の手持ち資料としていただき、今後、資料 4 を公表する際には先ほどの指摘事項を修正したものを公表することで対応したい。
- 座長： 先ほどの2点を修正した上で資料を公開することとし、この会議自体も公開であるため、議事録でもきちっとこうした経緯を残していただきたい。
- 事務局： 了解。

今後のスケジュール(案)についての説明

事務局より説明 了承

その他について

- 座長： その他として、全体を通して何かご意見・ご質問等があれば伺う。
- A 委員： 阿倉川西富田線について、朝たいへん混雑する。何かこの交通戦略で対策として該当するものがあれば教えていただきたい。
- 事務局： 開通当時から比べると交通量が増えている状況であるが、なかなか抜本的な対策の予定はしていない。先ほどの北勢バイパス整備の説明もあったが、その進捗を見極めながらということになる。そのため、市としても国への要望等に取り組んでいきたい。
- 座長： その道路は公共交通は通っているのか。
- 事務局： 通っていないが、並行する国道1号にバスが通っている。このため、公共交通を利用していただくための啓発活動に取り組みたい。
- A 委員： 現在、国道477号バイパスの整備が進められているが、これに向けて四日市中央線の延伸の計画はあるのか。
- 事務局： 将来計画としてはあるが、現在の市の財政状況では非常に厳しいのが現実であり、なかなか道路をどんどん整備する時代では無くなってきている。公共交通を利用しながら、そういった中で必要な道路は整備するという時代である。よって、なかなか整備時期をお示しする状況ではない。
- 座長： 先ほど、関連資料 2 の説明の中で、交通の状況に関する説明がなされたが、車、公共交通ともに動向が変わってきている。パーソントリップ調査は10年前との比較になるため、10年前と比べて四日市市における自動車の分担率が増えているという結果となっているが、東京や大阪はすでに自動車分担率は減ってきているし、名古屋も減っている。よって、この先、どんどんハード整備をするのが必ずしも良いのかどうかという時代になってきている。少し中・長期的に見ながら道路や公共交通を含めて検討していかなければならないと考える。財政状況が厳しい中、道路を維持していくのもたいへんな時代になりつつある。そういったことも含めて考えていかなければならない。よって、総合的に計画を立てて進めていく必要がある。
- 座長： 今後も引き続き当協議会にご協力のほどよろしくをお願いしたい。

以上